

## 第29回 スクリーンコンサート 2023.12月

## 今月のテーマ アヴェマリア&amp;クリスマスソング

アヴェ・マリア（ラテン語: Ave Maria）は、ラテン語で直訳すると「こんにちば、マリア」を意味します。

カトリック教会の聖母マリアへの祈禱を指し、この祈りは教会によって伝えられるが、典礼行為ではなく、私的な信心業として伝わるもの、祈禱のための教会音楽や、祈禱文を歌詞にした音楽作品など、グレゴリオ聖歌は元より様々なアヴェマリア楽曲が存在します。



## 曲 目

## 三大アヴェマリアとは

## 1、モーツァルト アヴェ・ヴェルム・コルプス 3:07

この曲はモーツァルトが、妻コンスタンツェの療養を世話した合唱指揮者アントン・シュトルのために作曲したものである。簡素な編成でわずか46小節の小品だが、絶妙な転調による静謐な雰囲気からモーツァルト晩年の傑作とされる。

## 2、ブルックナー アヴェマリア 3:43

ブルックナーは「アヴェ・マリア」を3曲遺している。第2作のこの曲は無伴奏の7声合唱曲。

## 3、マスカーニ アヴェマリア 3:42

歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』の間奏曲のメロディーに、マッソーニが歌詞を付けた歌曲。

## 4、メンデルスゾーン アヴェマリア 7:58

メンデルスゾーン「3つの教会音楽」作品の一つ。最高のアヴェ・マリアだと高い評価の曲。

## 5、フランク アヴェマリア 6:19

短調から長調に転調するととても美しい曲です。

## 6、アルカ・テルト アヴェマリア 2:40

讃美歌の代名詞みたいに思われている曲です

16世紀のシャンソンを原曲とする19世紀フランスの賛美歌です。

## 7、グノー アヴェマリア 5:49

バッハの《平均律クラヴィーア曲集 第1巻》の「前奏曲 第1番 八長調 BWV 846」を伴奏に、ラテン語の聖句「アヴェ・マリア」を歌詞に用いて完成させた声楽曲。

## 8、カッチーニ（ヴァヴィロフ） アヴェマリア 4:10

カッチーニ『アヴェマリア』については、「作曲者不詳」のアヴェマリアとして発表していたが、真の作曲者は、旧ソ連の作曲家ウラディーミル・ヴァヴィロフ（1925-1973）と判明。ギターやリュート奏者としても活躍した作曲家。

ヴァヴィロフは、自身の作品を神秘化するため、昔の古典作曲家の名前を借りて発表する事がよくあったという。

1995年スラヴァの大ヒットでこの曲が世界中に広まる。

## 9、シューベルト アヴェマリア

シューベルト歌曲『エレンの歌第3番』作品52-6（D.839）。

歌詞は、スコットランドの詩人ウォルター・スコット（Sir Walter Scott/1771-1832）による叙事詩『湖上の美人』から採られている。この物語の中で、王から追われる身となった「湖上の貴婦人」ことエレン・ダグラスは、聖母マリアに助けを求めて祈りの言葉を口ずさむ。そのエレンの歌こそが、シューベルト歌曲『エレンの歌第3番』であり、それが『シューベルトのアヴェ・マリア』として定着した。

## その他の主なアヴェマリア

- ・サン・サーンス：アヴェ・マリア
- ・ペルゴレージ：サルヴェ・レジーナ
- ・ケルビーニ：アヴェ・マリア
- ・ストラデッラ：教会のアリア
- ・クルデーリ：サルヴェ・レジーナ
- ・レーガー：マリアの子守歌
- ・トスティ：アヴェ・マリア
- ・エルガー：アヴェ・マリア
- ・フォーレ：アヴェ・マリア

## クリスマスソング

- 1、もろびとこぞりて 3:00
- 2、ジングルベル 2:53
- 3、きよしこの夜 5:46
- 4、ハッピークリスマス 3:44